



わたしたちから見た選挙



東金高等学校三年

熊谷 由香さん
(栗山)

よく舗装された道路や新設の信号機などを見ると、町や県の行政の力を実感し、満ち足りた気分を味わえる。

ところが、そういう気分を根元から消し去ってしまう出来事がしばしば起こる。

少し前のことでは、為政者と土木会社が互いの利益のために特別の取り引きをしていたことが明らかにされた。せつかく明るい気持ちでながめた町の発展もありがたみを見失う。——もしかしたら私たちの町も……、こんな思いが走る。私は現在十七歳の高校生。まだ選

皆さんの日常生活の中で、いろいろな出来事、生活上の知恵などありましたら、何でも結構ですの役場内広報係(☎②1115)までご連絡ください。
また、記事中に掲載されている写真をご希望の方、お譲りします。

挙権を持っていない。直接参加はしていないけれども、国民の一人として政治に対する興味はある。とはいうものの、親に小遣いをもらい、学生生活を奔放に過ごしている私にとって、政治家の活動も政治献金なども別世界であって、それを遠くで起きたこととして受け止めてしまいがちだ。そのせいか、選挙の汚職事件等に関して、そのバカらしさに理解し難いこともある。
選挙の際に、政治献金などという最もらしい名の黒い金を有権者に配り、票をかせぐ候補者たち。

その行為自体が人道に反しており、政治家として失格である。それなのに、金を受け取り、その義理立てに貴重な一票を投じてしまう有権者たち。
私には、その「義理心」が解せない。真心のかけらもない手段で、自己の権力拡大のために、有権者を利用してはにすぎない人間に、どうして義理など立てる必要があるのか。
有権者はもっと、賢くならなければならない。よく聞く言葉だが本当のことである。自己のわずかな利益に固執している時代ではな

い。
だが、より責められるべき立場にいるのは、一部の政治家たちである。自己の地位と利益のみで動く人々。彼らの中には、より高い利を求めするために、何のためらいもなく党派を寝返る人もいるという。
選んだ人々にも責任の一端はある。しかし、選ばれたことをいいことに、自己本位に活動されてはたまらない。
国際化されている現在、こんなことでは日本の先行きが心配だ。選ぶ側、選ばれる側、共に自己

のみにとらわれず、もっと寛大な視野と、人間らしい誇りを持ってもらいたい。
私も、有権者となる日までに見解を深め、よりよい社会づくりに協力したい。



小さな工夫で豊かな暮らし

暮らしの豆知識

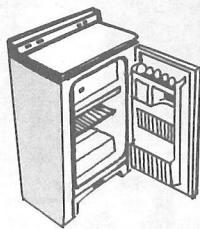
その2 冷蔵庫

●食品を詰めすぎではありませんか

冷蔵庫の貯蔵量は、内容量の50%が最適です。食品を詰めすぎますと、冷え方が悪くなり、電力を多く消費することになります。適正な量に保つと、年間1世帯当たり約28kWh約780円のお得になります。

●湿ったものや、温かいものをそのまま入れていませんか

湿ったものは、ラップなどで包んでから、温かいものはさましてから入れるのが合理的でお得です。



限りある資源を大切に